

広報誌

ほのぼののだより

～ほのぼのと暮らし、ほっとできるひとときを～

第3号

秩父市社会福祉事業団

平成30年6月発行



～もくじ～

- 放課後等デイサービス『ゆくる』開設・・・・・・・・・・ P 2
- 新規事業の取り組みと障がい児への支援について・・・・・・ P 3
- 特集『利用者さんからの声』・・・・・・・・・・ P 4、5
- 春の思い出・・・・・・・・・・ P 6、7
- 連載『風に吹かれて』・・・・・・・・・・ P 8
- 趣味『悠・遊』、わたしのお気に入り・・・・・・・・・・ P 9
- ほのぼのTOPICS・・・・・・・・・・ P 10
- 認知症コラム、健康メモ・・・・・・・・・・ P 11
- information・・・・・・・・・・ P 12

表紙の写真

初夏の高原の風を受けて、気持ちよさそうに草を食むヤギたち…。優しく見つめて、瞳を合わせれば心が通います。

放課後等デイサービス『ゆるる』開設

平成30年4月1日、放課後等デイサービス『ゆるる』を開所いたしました。放課後等デイサービス『ゆるる』は一人一人の児童と向き合い、お子様の成長に合わせ「社会性の向上」「新しい興味の発見」を楽しく学んでいきます。また、お子様そしてご家族全員の『笑顔』を大切にしていきます。

『ゆるる』とは「行く(ゆく)」「来る(くる)」の関係を築き、その関係がいつまでも続くようにとの思いを込めました。また、沖縄の方言で「ゆっくりする」「くつろぐ」といった意味もあります。家のように「くつろげる」場所で、共に過ごす時間を大切にしながら、一人一人の個性や長所を「ゆっくりと丁寧」に伸ばしていきたいと思ひます。



玄関



指導訓練室



事務所内

保育士をはじめとしたスタッフが連携して、児童の「個性・興味・考える」を尊重した支援により、さまざまな成長を促します。また、友達との遊びや体験の中から、「人と人との繋がり」の楽しさを学んでいきます。

放課後等デイサービスとは、障がいや発達に特性のある6歳から18歳までの学齢期の児童が、学校の授業終了後や、夏休みなどの学校休業日に利用できる福祉サービスです。個別療育や集団活動を通して、家と学校以外の居場所をつくり、この時期にしか習得できない多くのことを学びます。

《ご利用相談窓口》

放課後等デイサービスゆるる（管理者：原） TEL 26-7723
障がい者相談支援センターほのぼの（管理者：関根） 同上

新規事業の取り組み ～共生を志して～

今から10年前の話です。高齢の母親と障がいのある息子さんが二人暮らしをしていました。しかし、母親が急に入院することになり、息子さんの生活が心配になりました。そこで、ショートステイの相談があり、息子さんを支えるために行政機関等を奔走した結果、特別養護老人ホームで障がい者のショートステイが利用できるようになりました。数年後、同様のニーズが訪問介護でも生じ、障がい児（者）宅へホームヘルパーの派遣を行うようになりました。更に、その1年後に、障がい児（者）の相談事業を始め、特に要望が多かった放課後等デイサービスをこの4月に開設しました。現在、国は高齢者、障がい者が共生するサービスのあり方を進めていますが、事業団は以前から、サービス分野の垣根を超えた受入れを行ってきました。そこには、「人の役に立ちたい」「多くの人に利用してもらいたい」「地域や社会に貢献したい」という現場の思いが、組織としての意思に直結してきたと感じます。

今後ですが、昨年、秩父市が「星の子教室（児童発達支援施設）」「ふあいん・ユー（重度心身障がい者通所施設）」を民営化することになりました。その公募に、以前から描いていた多機能型福祉施設の構想を提案し、事業団が事業者に選ばれました。

これから、平成32年4月までに新しい施設を建設し、事業を開始できる計画を進めます。その構想は、障がい児の「児童発達支援施設」「放課後等デイサービス」、障がい者の「生活介護施設」、高齢者の「デイサービス」の4つの機能を兼ね備えた施設です。

幼児、児童、成人、高齢者まで様々な方に利用していただき、小さな頃から年をとるまで、慣れ親しんだ環境で、顔見知りの職員とともに過ごすことができる施設。そして、10年、20年と地域から親しまれ、頼られる施設づくりを目指し、法人の力を結集し着実に前進して参ります。 施設長 増田

障がい児への支援 ～大切な思いを胸に～

保護者は子どもの発達や将来への不安を抱えながらも子どもの健やかな成長を願っています。相談支援専門員はこのような保護者や子どもの心境に向かい合う窓口であり、とても重要な役割を担います。そこで相談支援者として、相談支援事業所として大切にしていることを4つにまとめてみました。

障がい児相談支援・計画作成で大切にしている4つのこと

①将来の自立に向けた発達支援

子どもがもつ力や可能性を引き出し、最大限の発達ができるようにします。発達の主体は子どもであり、将来の地域生活、自立を念頭に置き、見通しをもって行われるように支援しています。

②家族を含めたトータルな支援

子育てに悩んでいる保護者も多く、特に初期は育児不安を支える視点が大切になります。家族支援には保護者以外への支援も含まれており、特に兄弟に対しては一人の子どもとして大切にされ、育ちを保障されるよう支援する視点も欠かせません。

③子どものライフステージに応じた一貫した支援

子どもの安定した成長・発達には機関が移っても支援の一貫性が確保されていることが重要です。相談支援事業所は子どもや家族のライフステージに一貫して関わる人、機関であり、支援計画の積み重ねを通して、子どもと家族をサポートします。

④身近な地域における支援

障がいのある子どもも小さいころから身近な地域で支援を受けられるようにすることは、インクルージョンの理念からも重要です。まだまだ身近な地域に発達支援や放課後支援を行う場は不足しています。社会資源が充実するよう働きかけることも重要な役割です。

障がい者相談支援センター ほのぼの 持田

特集 『利用者さんからの声』

今回の特集は、秩父市社会福祉事業団の様々なサービスを利用されている方々のご家族に、サービス利用の様子や様々な思いについて、インタビュー形式でお話を聞きました。事業団では多くの事業を行っています。ご協力いただいた皆様の声を通じて、サービスの一端がお伝えできればと思います。また、皆様からお聞きした貴重なご意見やご感想は、私たちの糧として大切にさせていただきます。



半田初枝さん
(偕楽苑入所中)

<ご本人>

- ・今の生活を続けていられるのはここに
いられるから。
- ・たまに職員さんがいい意味で厳しく私
を見てくれるから自分でやらなきゃ
って思う(笑)
- ・規則正しい生活を送れることがいいこ
とよ。

厳しいことありますか?でも、しっかり見守
らせていただきます。そしてこれからも、笑顔
で楽しく生活していただけるように、イベント
や毎日の生活について考えていきたいと思いま
す。お一人お一人の声に耳を傾け、皆さんと一
緒にもっともっと暮らしやすい楽しい偕楽苑に
していきたいと思っています。

偕楽苑 高野



黒澤スミさん
(長寿荘入所中)

<ご本人>

- ・高い所にあるので景色がいいよ!
- ・何といってもごはんが美味しい。
- ・職員がとっても気がきくので生活し
やすい。
- ・色々な場所に外出に連れていっても
らえるから楽しみ。

ほのぼのマイタウンの3階にある長寿荘からの景
色は、四季折々素敵ですよ。清々しい空気の中
で食べる食事は美味しいですね。食事はいつも健康的
で工夫を凝らしたメニューとなっています。楽しく
食べること、愉快的仲間と賑やかに過ごすことが、
長寿荘の皆さんの元気の秘訣ですね。

長寿荘 加藤



黒澤ハツミさん
(吉祥苑入所中)

<ご本人>

- ・夏は涼しくて、冬は暖かいので過ごしやす
い。周りにたくさん花が咲いて、季節を感
じられるのが好き。
- ・食事もおいしいし、友達もいるし、職員さ
んやみんなが優しくとっていいね。
- ・吉祥苑はいいとこなので、他に移れて言
われてもずっとここにいたい。

吉祥苑では、独り暮らしの人が多いで
すが、みんなで支え合って生活しています。大
きな家族のようですね。皆さんに「ずっとこ
ここにいたい」と思っていただけ場所である
こと、それが私たちの願いです。これから
も、一日でも長く、明るく楽しく暮らしてい
きましょう。

吉祥苑 中島



小泉茂男さん
(ヘルパー利用)

<ご本人>

- ・ヘルパーさんが作ってくれる料理が美
味しい。頼めば何でも食べたい物を作
ってくれるから最高だよ。
- ・家の中も部屋の隅々まで掃除してくれ
るからいつも助かっている。

家での生活で困っていることがあったら話し
てください。自立した生活が送れるよう家事等
のお手伝いをさせていただきます。料理は喜ん
でいただけて、良かったです。好物をお作りし
ますが、野菜や魚などバランスよく食べてくだ
さいね。

ヘルパー 黒澤



長谷川好男さん
(蒔田デイ利用)



愛犬のリキ・インコのピー
カメのリリ

<ご本人>

- ・蒔田デイはいいところだよ。歌も歌えてお酒も飲めていい思いができる。
- ・手作りおやつは、俺は作らないけど食べる専門で楽しんでいる。

<ご家族>

- ・蒔田デイさんは人間関係がとてもいい。職員さんも冗談を言って楽しませてくれるし笑顔が素敵なんだよね。
- ・ケアマネさんもお父さんの面倒をホントよく見てくれるから感謝しています。

みんなで一緒に育てた野菜で作るおやつは最高ですね。お酒が更に美味しくなりますよね。もうすぐ『新じゃが』が収穫の時期です。新じゃがは、どう食しましょうか？考える楽しさ、作る楽しさ、食べる喜び、そして、一緒に過ごす幸せ。皆さんの笑顔が一つでも多く見たいです。

蒔田デイ 山中



古川才治さん
(上吉田デイ利用)



古川さんのご家族

<ご本人>

- ・皆さん、親切なのでとてもいい。
- ・知ってる人がいるので会話が弾んで楽しい。
- ・私は元教員だったのだが、職員に教え子がいて嬉しかった。
- ・ただ残念なのは男の人（利用者・職員含めて）が少ないことだね（笑）

<ご家族>

- ・上吉田という土地柄で知っている利用者さんや知っている職員がいるので心強いです。
- ・教員をやっていたので、上吉田小学校に勤めていたことがあり、上吉田デイを利用することで昔の記憶が戻り大変嬉しいです。

素朴で温かな吉田地域の土地柄そのままのアウトホームなデイサービスです。地域の方の訪問時、飾られている写真や記念品、窓からの風景を観ては「懐かしい」とよく言われます。かつての学び舎も今は昔。姿は変わっても人の心はそのままに、これからも、上吉田小学校の頃の面影や皆さんの小学校への思いを大切にしていきたいと思います。

上吉田デイ 中島



鈴木志登美さん
(高篠デイ利用)

<ご家族>

- ・細かいところまでみてもらったり、近くの札所1番まで散歩に行けているので助かっています。
- ・高篠デイで役割を持たせてもらっているのでとても充実した一日が過ごせています。
- ・職員さんは父のことはもちろんですが私たち家族まで心配して頂いたり、時には介護のアドバイスをもらっているのので助かっています。

その人がその人らしく生活するためには、その人を知ることが大切です。今何を求めているのか、何に悩んでいるのか、思いを巡らせます。しかし、それは刻々と変わりゆくもので、私たちの力では及ばないものもあり、家族の力が大切になります。本人がいて、家族がいて、私たちがいて・・・関わる全てが大切な存在であって、みんなで協力してお互いを支え合っていければと思います。

高篠デイ 小林

お話を聞かせていただいた皆さんは、事業団のサービスに好印象をお持ちいただき、嬉しく思いました。今後も、これに満足せずに向上心を持って取り組んでまいりたいと思います。私事ですが、取材させていただいた中に小学校時代にお世話になった先生がいらっしゃって、昔話をたくさんお聞きすることができ、楽しい時間が過ごせました。先生も昔のことを楽しそうに話してくださり、私も嬉しくなりました。この度は、ご協力頂いた皆様、ありがとうございました。(担当)

春の思い出

山田の春祭り&小鹿野春祭り

心地よい春の陽ざしを受けながら、輝く山車を見物しました。太鼓の音とかわいい子供たちの声を耳にして、自然とみな笑顔があふれていました。春祭りを見物すると、春の訪れを実感します。



お花見

まさに百花繚乱、秩父路は四季折々沢山の花が咲きます。桜に芝桜、チューリップにポピーなど、どこか別の国に迷い込んだようでもあります。満開の花に負けない素敵な笑顔がはじけます。



バンドコンサート

職員によるバンド「MY TOWN BAND」が結成されて3ヶ月、この日に向けて熱心に練習してきました。ドラムにギター、生バンドの奏でる音に皆さん酔いしれていました。心のこもったバラードでは、思わず涙を浮かべる方もいました。



特別養護老人ホーム偕楽苑 養護老人ホーム長寿荘

偕楽苑と長寿荘合同で、児玉の骨波田の藤に出掛けました。どこまでも続く藤のトンネルは圧巻です。藤の甘い香りに癒され、思わずうっとり。お出掛けすると、出会いがいっぱいです。偶然の出会いの、何気ない一言が心に沁みることがあります。本庄のゆるキャラ『はにぼん』に出会うこともできました。一期一会の出会いを求めて、またどこかへ出発です。



蒔田デイサービス

下吉田の富田農園さんでイチゴ狩りを楽しみました。一番甘くて、一番大きいイチゴ、みんな一生懸命探しました。自分で摘んだ、摘みたてイチゴの味は格別です。「ほっぺがおちそうだね」そんな声が聞こえていました。お腹いっぱい、胸いっぱい。春のよい思い出となりました。



高篠デイサービス

高篠デイサービスの庭は、『かわいい娘たち』でいっぱいです。利用者の皆さんが植えた色とりどりの花たち。水くれば皆が交代で行い、愛を注いでいます。花には見る人の心を和やかにする力があります。そんな娘たちは、高篠デイサービスの皆様のようなのです。



上吉田デイサービス

厳しかった冬の終わりを告げるかのように、花桃が咲き始めると、上吉田デイサービスの春の外出行事が始まります。吉田元気村の花桃を皮切りにカイドウ街道、小川地区の芝桜など吉田地域は花見どころが満載です。今年は、暖かい陽気が続き、例年より早い見ごろとなりました。待ちわびた春の装いを目にして、皆さん嬉しそうでした。



連載 『風に吹かれて』 ～心のかたちを知りたくて～

・・・もし心に形があるならば、もし心に色があるならば、たしかな思いを丁寧に紡いで綴ります。

『花車』

事業団居宅・蒔田デイサービス利用者 福田 みつ

茜さす 山の向こうに 君住むと 風の便りに ききてなつかし
合歓淡く 咲ける夕べよ 尚淡き 思い出ありし この丘に佇つ
さりげなく 庇いくれたる あの言葉 真珠のごとく 抱き煌く
石投げて 水輪ひろがる その中に 君の笑顔が ゆがんでは消ゆ
さよならは 言わぬと常に 言ひし夫 看取るわが掌に つづる指文字
うしろ髪 ひかるる思い 終列車 見送る母の あまり小さく

【Heart. 4】

『春夏秋冬』

偕楽苑利用者 黒澤 知子

皆さんは、春・夏・秋・冬の中で好きな季節は何でしょうか？私は春が好きです。春には、たくさんの花が咲き、木々が芽吹きます。春の景色を見ていると、私の心はウキウキします。

私の夫は秋が好きでした。夫は若いころから病気のある私を受け入れて大切にしてくれました。子ども3人授かりました。働き者でお酒の好きな夫は疲れていても、いつも、おしゃべりな私の話を聞いてくれました。時々、怒られることもありましたが、それも『お父さん(夫)』の優しさだと思えます。怒った顔、ニコニコ笑った顔、どれも私の心の中に今もあります。そんな夫が癌におかされたのは70歳を前にしての頃でした。私が58歳の時の出来事です。

現在、私は偕楽苑で暮らしています。3人の子供たち、息子のお嫁さんと娘の旦那さん、そして、4人の孫の顔を見るのが何よりの楽しみです。苦勞して育てたやんちゃな子供たち、しっかり者のお嫁さん、優しい娘の旦那さん、私と『お父さん』にそっくりな孫たち、みんな私と『お父さん』の宝物です。空を見ると『お父さん』がいるような気がします。

【Heart. 5】

『それぞれの喜びに向かい』

偕楽苑職員 高野 賢司

人にはそれぞれの生い立ちがあり、それぞれ感性を持っています。私は日々の仕事の中で「自らがその人に成り代わり、その人の気持ちにどれだけ寄り添うことができるのか」が大切だと思っています。

「人の喜びとはなんだろう？人の幸せとは何だろう？」何らかの欲求が満たされると、人は喜びを感じるといいます。でも、教科書に書いてある関わりだけでは、人の喜ぶ顔を見ることはできません。多くの関わりを持ち人と触れ合う中で自然と心が通い合い、ふと、お互いに笑顔になる瞬間があります。この一瞬を求めて、私は日々考え悩みます。

分かれ道を右へ行くか、左へ行くか、その後は上に向かうのか、下に向かうのか、行き止まりがあったなら、もと来た道に戻るのか、それとも別の道を選ぶのか、歩を進める時に必要な物は何なのか・・・この道に入り15年、模索を続けています。迷路のように、パズルのように・・・。いまだに100点ももらえたことはないと思っています。誰かの喜ぶことは何でもやる気持ちでいます！誰かが心地よいと思える生活を追い求めていきたいと思っています。

いつか満点だと思ってもらえる時まで、そして、満点だったと思える日が来るまで。そこに、私の喜びがあるから。

【Heart. 6】

趣味 悠・遊

皆さんの趣味はなんですか？
今も楽しんでいることをお尋ねしました



引間喜好さん
(蒔田デイ)

趣味はカラオケです。10年位前になりますが、パーキンソン病を患い、声が出しづらくなってしまいました。その時、お医者さんに喉の柔軟性を持たせるため歌った方がいいと言われました。もともと歌は好きだったがさらに気持ちがこもるようになりました。家で目が覚めてから、何曲か歌っていると、時々妻が手拍子をして付き合ってくれるんです。その時はやっぱりうれしいです。友人と集まれば「喜好さん歌いなよ」と勧められたり、デイサービスにきて人前で歌ったりすると気分がいいものです。藤あや子の『こころ酒』や山本譲二の『花も嵐も』をよく歌うのですが、100点をとるまではやめられない。これからも100点を目指して頑張りたいです。自分の声もよく出るようになり、浪曲など他のことにも挑戦していきたいです。



小池公子さん
(偕楽苑)

私の趣味は詩吟です。昔から日本の伝統芸に興味がありました。年を取ってから時間ができ、やってみようと思いました。最初は少人数でしたが、だんだんと人が増え、いつの間にか十段となっていました。『小池公岳』と名をいただき、舞台上で披露することが何度もありました。普段、集まって話をしたりする時間は楽しいですが、いざ本番で舞台上に1人になると、客席が埋まっておりとても緊張します。少しでも緊張しない様に「私が一番偉いんだ」と思いながら詩吟を披露しています。詩を吟じて拍手をいただいた時には、本当にやっていてよかったと思います。数年前、ほのぼの祭りでも詩吟『寒梅』を披露させていただきました。この先も少しでも人前で披露することができればうれしいです。

わたしの お気に入り

職員の趣味 を紹介♪

私の趣味の一つに太鼓があります。事業団のお祭り『ほのぼの祭り』でも毎年行っていますが、今年も参加予定です。



加藤恭平職員
(居宅介護支援事業所)

太鼓を始めたきっかけは、祖父が地域で子供たちに教えていたので、興味がわいたからです。小学1年でやり始めたので何も考えることなく始め、自然と覚えていきました。子供の頃は夢中でしたが時間が経つにつれ、他のことにも興味がわき太鼓に関わる機会が少なくなりました。しかし、施設で働くようになり一緒に太鼓をたたいてくれる職員を集め行事で演奏する機会ができたため、再び始めるきっかけとなりました。それからは定期的に利用者の方に聞いてもらう機会を持つようになりました。祖父から教わった太鼓を今は他の職員に教える立場になり、教える難しさを感じながらも楽しく行っています。今後もお祭りや行事に合わせて太鼓を皆さんで楽しむ時間を作っていきたいです。



ほのぼのTOPICS (～地域の一員として)

心のふれあい、そして、お洒落に ～理髪ボランティア～

「髪のはきは心の乱れ」。長寿荘では、2ヶ月に1度、体の不自由な方など理髪店に行くことが難しい方へ向けて、ボランティアによる理髪が行われています。『ヘアーサロン グラデーション』の加藤ご夫婦、『カットハウス シザース』の関根さんの2店舗の理容店の方々です。

理髪時間は午前中予定され、理容師の手際よくその方に似合う髪形へ整える見事なハサミ捌きによって、キレイですっきりとした髪になった利用者さんの笑顔がフロアにあふれます。理髪を希望される方は毎回40人程おり、たくさんの方が理髪ボランティアの来荘を心待ちにしています。「髪を整えることは心も整える」と、どなたかが言っていました。髪と私たちの心をも整えてくれる理髪ボランティアの皆さんには、心より感謝しております。



長寿荘での理髪の様子

演歌歌手 木村太郎さんの夢

演歌歌手である木村太郎さんは、福祉施設などを訪問しながら、歌の力で笑顔を作るという音楽活動に挑戦されています。「利用者の皆さんが若い時に口遊んだ歌そして楽しかった気持ちを、自分の歌を聞いてもらうことで思い出し、元気になる笑顔になってもらいたいということが歌手としての夢である」と伺いました。

今、木村さんが力を入れて頑張っている歌は、ご本人が作詞された『男道』です。木村さんらしいカッコイイ歌です。当事業団でも、アンコールがかかる人気の一曲。「どんな場所でもどんな時でも、精一杯気持ちを込めて歌います」との宣言通り、見事な歌声に拍手喝采。木村さんのサインをもらった利用者さんは、「妻に自慢しよう」と笑顔いっぱいでした。



心のこもった贈り物 ～花秀さんから長寿荘へ～

秩父市中町の生花店『花秀』さんから、四季折々、たくさんのお花を頂いています。頂戴したお花は、食堂や利用者さんの部屋など様々な場所で施設を彩ります。花の彩りと香りは雰囲気明るくし、私たちの心も何だか軽やかにしてくれます。お花と花秀さんのお気持ちを頂戴できる私たちは幸せです。



認知症の方の『応援者』に

認知症は誰にも起こりうる脳の病気です。周囲の理解と気遣いがあれば、認知症の方は穏やかに暮らしていくことは可能です。認知症について正しい知識をもって、誰もが認知症の方やご家族を支えることができるようになることを目指して、認知症ケア委員会は活動を行っています。

活動の一例を挙げますと、外部へ出向いての認知症サポーター養成講習の開催があります。市民の皆さん・市内の小中学生・警察官・民生委員など様々な方に向けて、認知症についての理解を深めていただくための講習会を行っています。講習を修了した証であるオレンジリングを身につけている方が増えていくことが、私たちの喜びです。認知症ケア委員会では、日々、専門的知識の向上に取り組み、そしてそれを発信し、認知症の方が安心して暮らすことのできる社会の実現を目指してまいります。

認知症コラム

日常に見かける場面です。

Aさん：「こんにちは。今日はいい天気だね。」

Bさん：「そうだね。一緒に散歩でも行こうか。」

Aさん：「いいね。一回りしてこようか。」

地域で見かける何気ない会話ですが、ここに認知症予防の大きなキッカケがあるのです。認知症予防は、頭と身体へ働きかけることが重要であり、効果があると言われています。上記の状況では、『会話による頭への働きかけ』と『散歩することによる身体への働きかけ』が一度に行えていると言えるのではないのでしょうか。無理に行うのではなく、日常生活の中で自然にできるということに大きな意味があるように思えます。

人間の悩み事は、人に相談すれば半分は解決したようなものと言われていますが、それは悩み事自体が解決したのではなく、心のストレスが緩和しているのです。すなわち、心穏やかにコミュニケーションが取れる環境にあることが非常に重要な意味を持つと考えられます。

では、この環境を作り上げるにはどうすればよいのでしょうか。近年、都市化や少子化、高齢化等さまざまな課題が取り上げられています。コミュニケーション環境には個人、地域差があり、一人ひとりに合わせた地域社会環境の構築がとても重要であります。日常の繋がりと共に、そのお手伝いを我々、福祉に携わる人間が積極的に行っていき、地域の方々と共に環境作りをしていけたらと考えています。

今回のテーマ

『地域と共に歩む』

～認知症予防への近道～

障がい者相談支援センター

ほのぼの 相談支援専門員 関根



健康メモ

今回のテーマ

『あなたの健康寿命を支えたい、そして…』

～知って得して～



新井看護師
(偕楽苑)

暖かい季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。昨年秋からインフルエンザが大流行しましたが、おかげさまで偕楽苑では罹患者が1名も出ることなく過ごすことができました。また昨年度、偕楽苑では次亜塩素酸の超音波噴霧器を設置しました。次亜塩素酸とは厚生労働省が認めた「安全でかつ殺菌効果の高い水溶液」です。ほとんどのウイルス、細菌に効果がありますが、人体には影響がないという優れたものです。これもインフルエンザ予防やノロウイルス等の予防に効果があったと考えております。このような機械の設置だけに頼らず、本年も昨年以上に感染症対策委員会を中心に研修会の開催や職員への指導を続け、感染症予防に努めていきたいと思っております。

さて、これからの時期に特に注意が必要となってくるのは「熱中症」です。日頃から適度な運動、バランスの良い食事、十分な睡眠ができていますか？熱中症はこれらの事ができていてもなってしまうことのある身近な病気です。症状としては、めまい・大量の汗・体温上昇・こむら返りがあります。その後、頭痛・吐き気も現れます。症状出現時は涼しい場所へ移動し、体を冷やし、可能なら十分な水分・塩分補給をして下さい。重症になると意識障害・痙攣が現れます。この場合は救急要請が必要となります。熱中症対策の一つとして体温降下効果や血液サラサラ効果もある「ミネラル麦茶」も良いと言われています。これからの時期にぴったりの飲み物ですので、皆様にお勧めして暑い季節を乗り切って頂きたいと思っております。

Information (秩父市社会福祉事業団からのお知らせ)

救命研修・防犯対策研修

秩父市社会福祉事業団では、職員の資質向上のため定期的に各種研修会を実施しています。今回は、事業団の全職員を対象に救命研修及び防犯対策研修を実施しました。

救命研修では、2月19、20、21日の3日間にわたり開催しましたが、職員の救命救急に対する関心度は高く、計118名の職員が参加しました。秩父消防署の救急隊の方々による実技講習により、AEDの取扱方法と最新の救命技術を身につけることができました。当施設にもAEDが設置してありますが、いざという時に慌てずに使用できるよう、今後も定期的に開催していきたいと思っております。



救命研修（心肺蘇生法の講習）



防犯研修（講話と実技）

防犯対策研修は、3月15日に開催し、55名の職員が参加しました。ほのぼのマイタウンでは、初めての開催となりましたが、秩父警察署の方による講話やさすまたの実技講習を行いました。「声掛けは私たちができる防犯の第一歩」という言葉が印象的で、来訪者への声掛けを徹底し、施設全体として防犯に努めていきたいと考えています。

新規職員採用

昨年度、当法人では職員採用試験を4回実施いたしました。その結果、平成29年10月1日付け4名、平成30年4月1日付け8名、計12名の職員が採用となり、4月2日、秩父市役所市長室において辞令交付式を行いました。新規採用職員は、高校・専門学校を卒業したばかりの者、社会経験を経て専門学校で福祉を学んできた者、福祉施設での経験を積んできた者等、年齢も経験もそれぞれですが、当事業団職員の一員です。また、4月2、3日にかけて新規採用職員研修を実施し、介護保険制度を始め、人権擁護、認知症高齢者の理解、また事故防止対策、感染症対策、腰痛予防対策等について学びました。利用者、ご家族の皆さま、新規採用職員をどうぞよろしくお願いいたします。



秩父市役所にて辞令交付

編集後記

暑さが日ごと増す今日この頃、皆さま体調は崩されていませんか？5月4日、メジャーリーグで活躍するイチロー選手が会長付特別補佐となりました。イチロー選手はその際、「野球の研究者でいたい」と話していました。この話を聞いて「イチロー選手はつくづく野球が大好きなんだ」と感じたのは私だけでしょうか？私たちの働く福祉の世界でも、イチロー選手のように探求心をもってこれからの福祉のあり方について考えていくことが求められていると思います。もう既に高齢化社会は始まっており、福祉ニーズが高まっています。この高齢化社会において、秩父市の福祉が充実し安心して暮らせる街となるよう、私自身も一研究者でありたいと思います。また来シーズン、イチロー選手がどのような野球をするか楽しみです。これから暑くなりますので熱中症に気を付けて下さい。（本多）

秩父市社会福祉事業団「Facebook」更新中！ <https://www.facebook.com/chichibu.honobonomytown>

秩父市社会福祉事業団 HP アドレス

<http://www.chichibu.ne.jp/~honobono/>



秩父市社会福祉事業団

検索

